

湯田ダム

発行：北上川ダム統管理事務所
湯田ダム管理支所

岩手県和賀郡西和賀町杉名畑44地割162-15

だより 2024 Jul Vol.115

湯田ダム竣工60周年



ダム見学会

7月4日、岩崎地区交流センターから57名の皆さんが湯田ダムを見学されました。コンジットゲートから放流を行っている日でしたので、ゲート室から迫力満点の放流をご覧いただきました。

建設中の湯田ダムや、索道（空中に架け渡したワイヤで資材を運搬）の話で盛り上がっていました。

西和賀町かあまちづくり 湯本地区区お披露目式



錦秋湖周辺のにぎわい創出につなげるため、西和賀町と北上川ダム統管理事務所が湯本地区の親水護岸を整備しました。

7月27日、まちなか交流館でお披露目式を行いました。

くす玉を割り、完成を祝った後は地元の小学生が鮎のつかみ取りに挑戦しました。

交流館から水辺まで階段で降りられ、バーベキューや釣り、ボート体験などに活用することができます。



東北地方では28件のかあまちづくりが登録されています。（令和6年3月現在）

西和賀町かあまちづくりは、東北地方の管理ダムにおける登録第1号です。



江釣子の河原からダムまで索道で砂利を運搬しました



サマーLIGHTフェスティバル

7月27日に開催予定だった「サマーLIGHTフェスティバルinにししが」は、大雨の影響により中止となりましたが、展示予定だった写真をご紹介します。

会場の川尻地区は、湯田ダム建設により一部水没した地区です。

（湛水直前の昭和39年 貯砂ダム付近）



ダムの機能を正常に発揮するため、ゲート設備等を点検整備しています。
 損傷や異常がないかクレストゲートの動作試験を実施しました。



河川パトロール及び清掃活動

7月23日に和賀川の清流を守る会では、第1回河川パトロール及び清掃活動が行われました。
 和賀川水系の美しい景観と環境の保全を目的として焼地台公園の草取りと清掃を行いました。



湯田ダムから関係者20名が参加



NO MORE
ポイ捨て!



特定外来生物のアレチウリ(左)
オオオナモミ(右)

水源地見学会

7月24日に湯田小学校の4年生13名が、水源地見学会に参加され湯田ダムと仙人・和賀川発電所を見学しました。

雨の合間をぬって堤体内へ移動しゲート室を見学後、長い階段を昇ってものしり館まで戻りました。説明をよく聞き、挙手をよくして発言してくれました。

親戚の方が水没した地区に居住していたという方がいらっしゃいました。



大雨が降って
ダムがなかったら
どうなるでしょう

洪水調節

梅雨前線の影響による激しい雨により川の水量が増えたため、上流から流れ込む水をダムでため込みます。

水とともに大量の流木も流れ込むため、網場(あば)で捕捉しています。

ダムに貯め込んだ水は、下流河川における水位上昇を少なくし洪水の被害が大きくなるようにします。



流木の様子(7月10日)



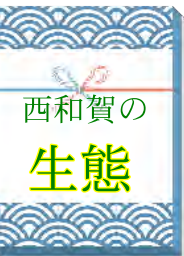
網場

流木の量を
計測します



船舶巡視

7月16日に船舶巡視を行いました。
 大石のトンネル工事で掘削された岩石で耳取地区の災害箇所への押え盛土工事が始まっています。



湯田ダム管理支所敷地内にヤマユリが咲き始めた頃、ハヤブサの兄弟が顔を現しました。

駐車場にはカモシカの親子がやってきて植栽をモグモグして行きました。

※威嚇してきます
そっと見守ってね



ヤマユリ



ハヤブサの兄弟



行きはエレベーター
帰りは階段174段を
昇ります

